

平成22年7月10日

## 第4回マナーキッズ大使の英国遠征報告

### 1 マナーキッズテニス大使選考の経緯

財団法人日本テニス協会は第4回文部科学大臣杯マナーキッズテニス全国小学生団体戦を平成20年12月20日(土)、21日(日)の両日東京体育館において開催し、全国から、60団体、181チームの441名が参加した。

試合結果、マナー、感想文、運動能力テストの結果、以下の4選手をマナーキッズテニス大使に任命した。(チーム名、学年は選考時点)

#### 【マナーキッズテニス大使】

	選手名	団体名(都道府県)	学年
男子	林 雄大	三郷市立新和小学校(埼玉県)	6
	はやしゆうだい	(現 三郷市立早稲田中学校2年)	
	一山 貴洋	西東京フロンティアキッズ(東京都)	4
	いちやまたかひろ	(現 小金井市立本町小学校 6年)	
女子	千葉 理紗	仙台テニススポーツ少年団(宮城県)	6
	ちば りさ	(現 宮城学院中学校2年)	
	小島日佳里	浜町キッズ(東京都)	5
	こじまひかり	(現 千代田区立九段中等教育学校1年)	

団長 白戸 仁氏(元デ杯選手)

### 2 マナーキッズテニス大使事前研修・・・平成21年3月終了

開催月日：平成21年3月26日(木)、27日(金)

開催場所：吉田記念テニス研修センター(千葉県柏市花野井 TEL047-134-3030)

講師：小笠原流礼法常任理事・総師範 鈴木万亀子  
吉田記念テニス研修センター理事長 吉田宗弘  
元全英テニス選手権複優勝 吉田和子  
吉田記念テニス研修センターアシスタント GM 吉田好彦  
第1回、第2回マナーキッズテニス大使団長 宮司正毅  
元デ杯選手、第3回、第4回団長 白戸 仁  
第3回随員 出口洋子  
NPO法人マナーキッズプロジェクト理事長 田中日出男

## スケジュール

月 日	時 間	内 容	講師（敬称略）
3月26日(木)	13:00 集合	事前研修趣旨説明、留意事項説明	田中日出男、白戸仁、出口洋子
	13:30~15:20	テニス練習、ボールパーソン練習、コート上のマナー	白戸 仁、吉田好彦
	14:00~15:00	保護者向け「遠征に際して、今後、家庭内でご留意頂きたいこと」	鈴木万亀子総師範
	15:30~16:30	日本人として心得るべきマナーについて	鈴木万亀子総師範
	16:30~17:00	ホテル・デルプラドへ移動	
	17:00~17:30	英国での滞在留意事項	宮司正毅
	17:30~19:00	夕食	
	19:00~20:00	ウインブルドン遠征に際して	吉田和子 吉田宗弘
	20:00~	課題討議 マナーキッズと武士道	田中日出男 (別紙参照)
3月27日(金)	8:30~10:00	日本人として心得るべきマナーについて	鈴木万亀子総師範
	10:00~12:00	テニス練習、ボールパーソン練習、コート上のマナー	白戸 仁
	12:00~13:00	昼食	
	13:00~14:00	英国での滞在留意事項	出口洋子
	14:00~16:00	課題討議発表・まとめ	田中日出男

### 3 ウインブルドン遠征日程

平成22年6月17日(木) 13:00 東京集合

川端達夫文部科学大臣表敬訪問(写真1)

6月18日(金) 日本出発 6月24日(木) 帰国

6月18日(金): 15:55 ヒースロー空港着

6月19日(土): Wimbledonミュージアム他見学

6月20日(日): 英国ジュニア選手との交流試合

6月21日(月): Wimbledon テニス大会初日観戦(写真2)

6月22日(火): Wimbledon テニス大会観戦

6月23日(水): 同上

: 19:30 ヒースロー空港出発



(写真1)



(写真2)

#### 4 感想文

夢のような毎日だった一週間、日本に帰ってくるとすぐに、「また行きたい」という気持ちがこみあげてきました。マナーキッズ大使になれたことを本当に誇りに思います。

私は、みんなよりテニスがうまくないですし、プロの選手もあまり知らないので、楽しみという半面、不安もありました。けれど、その不安をみんな消してくれたので、とても楽しい毎日を過ごすことができました。イギリスの子達との交流試合でも「サンキュウ」や「ナイス」と声をかけ合い、交流ができ、笑顔で言ってくれたのでうれしかったです。言葉は通じなくても。アイコンタクトやジェスチャーを行って、気持ちを伝えることができました。ダブルスの時は、一山君と組ませてもらって、ミスをした時は「ドンマイ」と言ってくれて、決めた時には「ナイス」と言ってくれたので、とてもうれしかったです。この交流試合で、テニスを楽しみ、さらにテニスが好きになりました。

楽しみにしていた、ウインブルドンの試合観戦は、プロの選手が私の目の前で試合をし、その場でしか感じられない迫力が生で伝わってきて、とてもとても感激しました。白戸先生がサインを頂けるチャンスをつくって下さり、有名選手のサインをたくさん頂くことができました。そして、試合中に素晴らしい動きをする同年代のボールパーソンに感動しました。全ての事が今後できることのないような貴重な経験をさせて頂きました。

本当に毎日が感謝の気持ちでいっぱいでした。ウインブルドンの一秒一秒は私のかげがえのない大切な宝物です。できることなら、あの日に戻りたいくらいです。こうして私が一生の宝物をつくることができたのも、今まで関わって下さった全ての皆様のおかげです。本当に感謝しています。

ありがとうございました。(小島日佳里)

以上